

またる

特集

未来の市政へ向けた一歩 ～市民と議員の意見交換会～

令和7年第3回定例会Pickup案件

- ・ 令和6年度一般会計・特別会計決算を認定
- ・ 【補正予算】中学校整備事業など
- ・ 市議会から国に意見書を提出



CONTENTS

| | |
|---------------------|-----|
| 特集 意見交換会報告 | P2 |
| 令和7年第3回定例会の結果 | P5 |
| 一般質問(12人25項目) | P8 |
| 議会活動報告 | P15 |
| 令和7年第4回定例会の予定 | P16 |

self-portrait

工藤 詩織

KUDO Shiori

名古屋芸術大学 芸術学部

2024年度 卒業制作

総合ファシリテーターを
有限会社
Playful mindの
樋口 由訓氏に
務めていただきました。



10月4日、名古屋芸術大学アーツスクエアにて、
市民と議員の意見交換会を開催しました。
たくさんの方にご参加いただき、
市の未来について、いろいろなご
意見をいただくことができました。
詳細は市議会ホームページを
ぜひご覧ください。



市議会HP

特集

未来の市政へ向けた一歩 ～市民と議員の意見交換会～



令和7年市民と議員の意見交換会 ～みんなでワイワイ！理想の街づくり会議～



参加してくださった方の
感想を一部紹介します

市の
将来イメージ理想が
はっきりできた。

より良い北名古屋が
期待できた。

「今日からが北名古屋市の
スタートだ」と
いう気持ちで
住みよい街づくりを
してほしい。

たくさんの感想、ご意見、
ご提案をいただきました。

こんなに充実するとは思いませんでした。

自分と似た
意見の方と
話せて良かった。

市民と
一体となって
意見を出せる
イベントは
もっとあって
いいと感じた。

参加してたのしかったですか？

| | |
|-----------|-------|
| とても楽しかった | 86.2% |
| まあまあ楽しかった | 13.8% |
| ややつまらなかった | 0% |
| つまらなかった | 0% |

いろいろな思いを
議員に知って
いただけて
よかった。

若い
中高大学生の
参加も促すと
もっといいと
感じた。

議員の感想

ご参加いただいた市民の皆様には心から感謝申し上げます。

市民の皆様の身近な声が聞ける貴重な時間となりました。初めてお会いした方々とも対話が進み、素敵な出会いがあり嬉しかったです。ご期待に添えるような活動に繋がたいと思います。

皆様の意見が素晴らしく、とても勉強になりました。さまざまな意見をお聞きできたので、地域のニーズを知ることができ、良かったです。

貴重なお時間を頂戴し、有意義な時間となりました。皆様の意見を反映できるよう、努めてまいります。



9 グループの発表内容に投票しました



10 最後までワイワイ意見交換できました



7 「こんな街にしたい」を3つに絞って



5 ひとりずつ発表し合い



3 開始前から和やかな雰囲気です



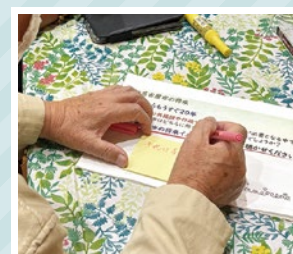
1 会場の装飾を事前に準備しました



8 グループごとに発表しました



6 グループ全員でまとめていきます



4 それぞれの思いをふせん紙に



2 全議員で会場準備

| 議案番号 | 議案名 |
|--------|--|
| 議案第64号 | 令和6年度北名古屋市一般会計決算の認定について |
| 議案第65号 | 令和6年度北名古屋市土地取得特別会計決算の認定について |
| 議案第66号 | 令和6年度北名古屋市国民健康保険特別会計決算の認定について |
| 議案第67号 | 令和6年度北名古屋市後期高齢者医療特別会計決算の認定について |
| 議案第68号 | 令和6年度北名古屋市介護保険特別会計決算の認定について |
| 議案第69号 | 令和6年度北名古屋市北名古屋沖村西部土地区画整理事業特別会計決算の認定について |
| 議案第70号 | 令和6年度北名古屋市下水道事業会計決算の認定について |
| 議案第71号 | 北名古屋市基金条例の一部改正について |
| 議案第72号 | 北名古屋市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について |
| 議案第73号 | 北名古屋市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について |
| 議案第74号 | 令和7年度北名古屋市一般会計補正予算(第3号)について |
| 議案第75号 | 北名古屋市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について |
| 議案第76号 | 令和7年度北名古屋市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について |
| 議案第77号 | 令和7年度北名古屋市介護保険特別会計補正予算(第1号)について |
| 議案第78号 | 北名古屋市高齢者活動センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について |
| 議案第79号 | 北名古屋市ひとり親家庭等手当支給条例の一部改正について |
| 議案第80号 | 北名古屋市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について |
| 議案第81号 | 令和7年度北名古屋市北名古屋沖村西部土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)について |
| 議案第82号 | 北名古屋市道路占用料条例の一部改正について |
| 議案第83号 | 北名古屋市法定外公共物の管理に関する条例の一部改正について |
| 議案第84号 | 北名古屋市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部改正について |
| 議案第85号 | 北名古屋市下水道条例の一部改正について |
| 議案第86号 | 北名古屋市公共下水道区域外流入分担金に関する条例の一部改正について |
| 議案第87号 | 北名古屋市下水道事業審議会条例の制定について |
| 議案第88号 | 市道路線の認定について |
| 議案第89号 | 工事請負契約の締結について(訓原中学校校舎長寿命化改修工事) |
| 議案第90号 | 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書について |

Pickup

議案第90号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出について

議員提案

市議会から意見書を国に提出しました

可決

子どもの教育環境

教育予算に関する予算確保を

令和8年度の政府予算編成にあたり、定数改善計画の早期策定・実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率2分の1への復元にむけて、十分な教育予算を確保されるよう関係行政庁に要望する。

色のついている議案をピックアップし具体的にどう変わるのかを掲載しております。
全ての議案内容は、市議会ホームページの「議案・請願とその審議結果」をご覧ください。

第3回

令和7年

定例会の結果

会期31日間
8月26日～9月25日

決算の認定……………7件
条例の制定……………2件
条例の改正……………11件
補正予算……………4件
契約の締結……………1件
市道の認定……………1件
意見書(議員提案)…1件

| 議決結果 |
|--------------------------|
| 議案第65、69、70号 |
| 全員賛成、認定 |
| 議案第64、66、67、68号 |
| 賛成多数、認定 |
| 議案第71～77号、 79号、81～90号 |
| 全員賛成、原案可決 |
| 議案第78、80号 |
| 賛成多数、原案可決 |

Pickup

議案第74号 北名古屋市一般会計補正予算(第3号)について

【補正予算】中学校整備事業 等

可決

| | |
|---|------------|
| 中学校整備事業 | 30,481千円 |
| 訓原中学校プール施設解体により併設の部室や器具庫が失われたため、ユニットハウスとバリアフリートイレを設置。 | |
| 旧鹿田南保育園解体事業 | 44,231千円 等 |

こんな質問が
出ました

Q 現在部室がなく、不自由していないのか。
A 元々、長寿命化改修工事は前から話し合っており、教室内で工夫している。

所管事務調査とは、市から提案された予算案や条例案などの議案を審査するものとは違い、委員会が所管する事務について自主的に行う調査です。以下の内容について、先進地への行政視察を予定しています。
行政視察の様子については、次号にてご紹介いたします。

総務常任委員会 令和7年9月17日

新庁舎の整備について

DXの推進について

録画配信

●本市の現状

・令和7年度現在、東西庁舎共に築50年前後が経過。「庁舎のあり方検討委員会」を発足し、将来の庁舎のあり方を検討している。

Q&A 質疑

Q いつまでに、現庁舎の長寿命化工事ないし新庁舎の整備ができてないといけないのか、期限的なものの想定はあるか。

A 明確なものはないが、物理的耐用年数に鑑み、10年程度を目安として考えている。

●本市の現状

・令和5年10月に「北名古屋市DX基本方針」を策定。自治体情報システムの標準化・共通化を業務影響がないよう移行予定。市民への利便性向上のため、窓口業務のデジタル化について、システム調査を進めていく。

Q&A 質疑

Q 市民のDXへのニーズはどのように把握しているか。

A 窓口の手続きやオンライン申請などを中心に取組んでいきたいと考えている。

福祉教育常任委員会 令和7年9月12日

ひきこもり支援事業について

子育て支援事業について

録画配信

●現状における課題

・ひきこもりの子を持つ親や親族等からの相談があっても、当事者と繋がりにくいことがあり、相談支援体制のあり方や支援を必要とする本人及び家族を合わせた伴走型相談支援体制への再構築が必要。

Q&A 質疑

Q 時代によって価値観が変わってくるということも含めて、ひきこもり支援を続けていかないけないと感じるが、どうか。

A 考えなければいけない時期に来ている。

●本市の課題

・産後ケア事業(宿泊型)、産後ヘルパー派遣事業において、利用者の希望に添えない場合がある。
・支援の必要な妊婦が増えている中、見守りが困難な場合がある。

Q&A 質疑

Q 産後ケア事業をもう少し利用してほしいという思いはあるか。

A 訪問型、宿泊型とも少ないということでは認識している。受入先の状況等にもよるが、周知を徹底していきたい。

建設常任委員会 令和7年9月16日

道路等包括管理事業について

都市農業について

録画配信

●本市の現状

・個別のインフラ施設については地区・業務ごとに業務を発注し、それぞれの業務を個別の業者が受注している。
・令和6年度(道路・排水路関係)発注件数年間：約70件

●本市の課題

・職員体制：技術系職員に限りがあり、計画的維持に十分な時間が確保できない。
・契約業務：発注件数が多く、手続きに係る事務負担が大きい。

●本市の現状

・市の耕地総面積は約368haで、総面積に占める耕地割合は約20%、市が農地を借り、整備区画化して市民に貸出ているレジャー農園の利用率は、92.36%。

●本市の課題

・農業全般の課題：農地の減少、担い手不足等
・レジャー農園の課題：雑草管理の負担増、駐車場不足等

ふるさと納税寄附金について

ふるさと納税による流入額と流出額のバランスは。

A 流入と流出を同等にしているため、魅力ある返礼品を増やしていきたい。

A 共創のまちづくり拠点整備事業 1億4,709万円

Q 市民活動センター「μ・base」を開設したが、予定していた計画や効果と比べて実績は。

A 評価の軸としてKPIを設定している。来場者数、メンバーシップ登録数については、想定を超えていたが、有料施設の稼働率が想定より低い数字となった。

令和6年度

流入額 1億213万円

流出額 事務経費：4,852万円
他市への住民税(翌年度に控除されるため令和7年分)：3億7609万円

一部交付税として措置されるため、令和6年度としてのトータルは△4,041万円。

Q 稼働率が低いため、どう利用者を増やしていくか。条例や制度等に手をつける考えは。

A いたずらに利用率を上げるのではなく、目的を逸脱しないよう、範囲の中でいかに柔軟に対応できるか指定管理者と協議をしていきたい。

Q 実際の運営をして、見えてきた課題は。

A 施設の目的を理解しないまま施設利用をしている方や、学習のために利用している中高生に対して、市民活動に関心をもってもらい、共創のまちづくりに関わっていただくことが課題。

Q 総合保育システム導入事業 3694万円

Q 総合保育システムを導入することで、保育士の業務負担がどれだけ軽減できたか。

A 導入当初、保護者連絡機能を使い、保護者からの欠席連絡対応が減った。このシステムは出席簿に反映しているため、集計ができ、クラス担任の負担も減った。

Q 現場の感想は。

Q 総務費 34億6,729万円

教育費 30億2,906万円

公債費 29億1,925万円

衛生費 26億7,838万円

土木費 25億6,907万円

消防費 11億7,749万円

農林水産費 2億6,124万円

諸支出金 3億1,951万円

その他 4億6,599万円

歳出 320億8,272万円

Q 積極的に活用されており、保護者からも好評である。ひとつのデータを連携させるなど今の時代に合った使い方ができ、合理的に仕事ができている。

Q 学校ホリデーについては、現状どのように決めているか。

A 教育委員会の定例会で諮って決めている。

Q 県のアンケートで保護者が学校ホリデーの日に休みを取れず有意義でなかったという意見があった。お知らせを早くしていただけるか。

A 早めに周知できるよう努める。

Q 母子保健事業について

Q 訪問指導延べ数が令和5年度562回から令和6年度874人と増えているが、理由は。

A 継続的に支援をする方が増えたため。

Q 消費生活対策事業について

Q 消費生活相談151件の内訳は。定期購入トラブル、大手企業破産

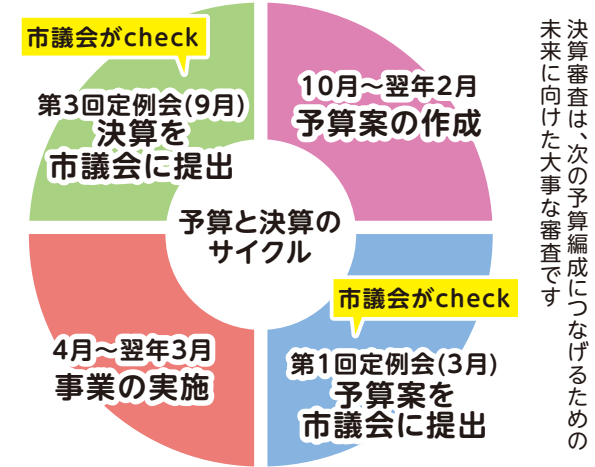
学校ホリデーについて

学校ホリデーの日は、現状どのように決めているか。

教育委員会の定例会で諮って決めている。

県のアンケートで保護者が学校ホリデーの日に休みを取れず有意義でなかったという意見があった。お知らせを早くしていただけるか。

早めに周知できるよう努める。



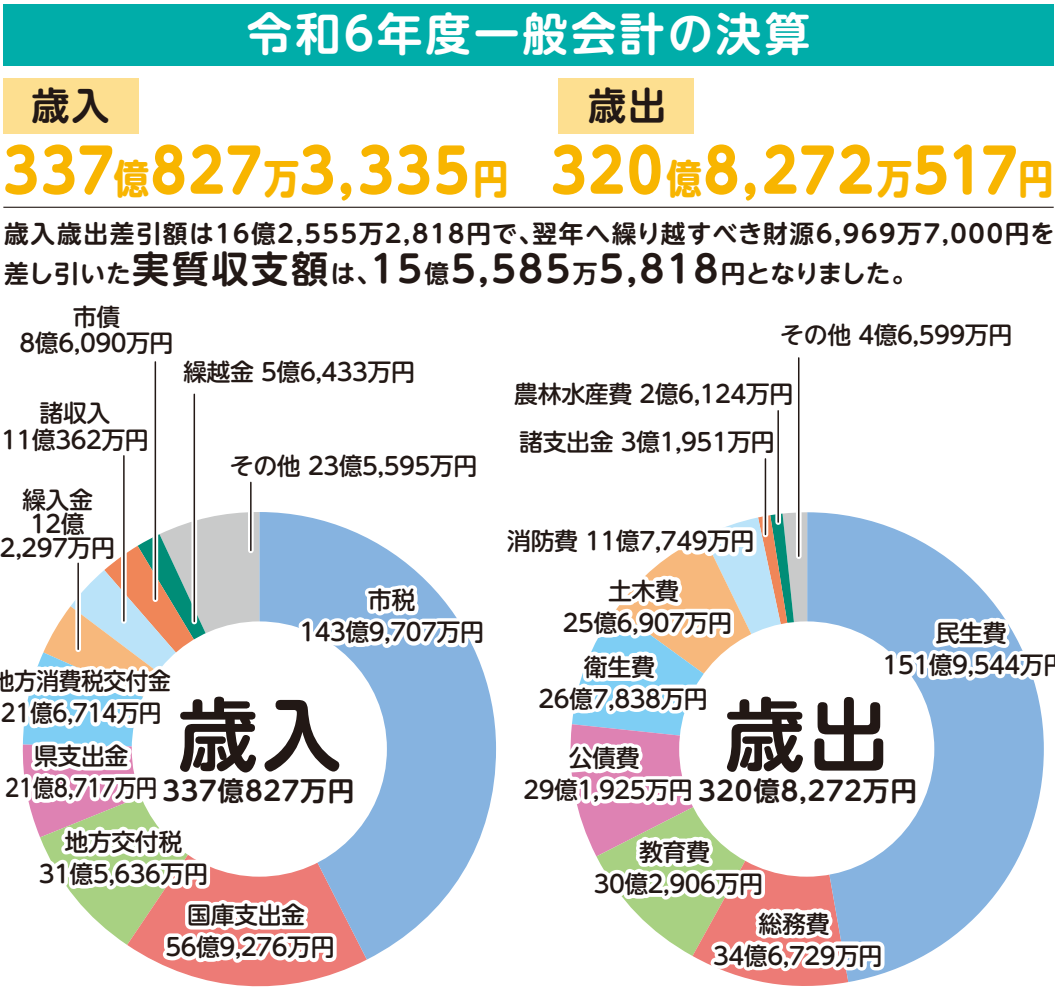
決算審査は、次の予算編成につなげるための未来に向けた大事な審査です

資源分別収集事業について

Q ごみはどれだけ減量になったか、資源ごみの回収量は。

A 令和5年度と令和6年度を比較すると、880トンほど減量されており、金額で言うと1700万円ほど減っている。資源回収の量は減っているが、売却金の単価が上がっているため、昨年度より500万円の増額となっている。

によるトラブル、ロマンス詐欺等。



共創のまちづくり拠点整備事業 1億4,709万円

持続可能な地域の発展と魅力向上につなげるため市民活動センター「μ-base」を設置した。

庁舎配置替え事業 2,700万円

新たな政策課題への対応と市民の利便性向上を目指して、組織体制の見直しと東西庁舎の配置替えを実施した。

防災行政無線管理事業 2億2,664万円

豪雨、地震等の災害に備え、同報系防災行政無線のデジタル化及び維持管理を行った。

総合保育システム導入事業 3,694万円

保育園にICTを導入することにより、欠席・遅刻などの相互連絡や登降園管理等により、保護者の利便性が向上した。

こんな質問が出ました

個人市民税 前年度比 △2億4414万

Q 定額減税の影響額は。

A 3億9776万円の減収。

Q 定額減税の影響はあったが、全体のマイナスは定額減税の影響以下であり、個人市民税は伸びている。その理由は。

A 給与所得者の賃金が増加したことから、生産年齢人口が増加したからとみている。

Q 令和7年度以降の個人市民税はどう見込んでいるか。

A 令和7年度は、定額減税措置終了の影響分としての増収、賃上げ政策の効果影響により増収を見込んでいる。令和8年度以降は賃上げ政策の効果の継続が見込まれるが、年収の壁見直しによる減収の影響があると見込んでいる。

庁舎配置替え事業 2700万円

Q 配置替えによる結果、総括は。

A 片方の庁舎で手続きが済むようになった。それにより、東西庁舎を結ぶシャトルバスの利用者が増えた。

一般質問

質問議員12人
質問25項目

一般質問とは

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。

今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容がありますか？

一般質問の内容は動画で視聴できます。二次元コードまたは市議会ホームページから「議会録画中継」を選択してご覧ください。各議員の記事の右下にあります二次元コードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問に関する録画配信ページにつながります。



寺院と大規模災害時の協力協定について

井上 一男（市政クラブ）



生活安全部

南海トラフ沿いでは、巨大地震がいつ起きてもおかしくない。日頃から一人ひとりが対策を考え、地域が連携し、避難準備をする必要がある。東日本大震災では、寺院が避難所として地域の多くの被災者を受け入れた。地域防災は寺院も含め、総力を挙げて取り組む事が課題となる。行政が地域を見守り続ける寺院と大規模災害時における協力協定を締結する必要があると思うが、

①寺院と災害協定を締結する考えは。また、締結する場合の想定内容は。

②寺院の耐震診断や耐震補強に補助金など支援をする考えは。
③各地域の指定遺体安置所は決めているか、また、災害協定に遺体安置所として指定する考えは。

生活安全部長

①災害協定の締結について、一時避難所、福祉避難所、遺体の一時安置所としての施設の提供、車中泊避難者の車両の駐車場の提供、遺体安置所での読経等の協力について協議を進めている。
②本市の耐震診断・耐震改修工事に関する補助は住宅対象のため、今後、他市の導入事例等について研究を進める。
③遺体安置所は広いスペースが必要で具体的な場所は定まっていない。市内仏教会との災害協定において、一時的な遺体安置所としての協力について協議を進めていく。

その他の質問

・必要最低限の備蓄について
・大規模災害時のトイレについて



総合政策部

今後の北名古屋市の展望について

福岡 康（市政クラブ）



太田市長は「ともに進める、新しい北名古屋市へ。」をスローガンに、「5つの約束」と「行財政改革」を公約に掲げ、令和4年に当選されたが、市民説明会や市民対話集会を行い、直接市民の声を聴き、説明したことで市民と行政の距離感が身近になったことは大いに評価している。

しかし、行財政改革による予算削減で「何かを申請しても予算がないから断られてしまった。」という市民の声を耳にする。行財政改革は賛同するが、改革計画を市民に示し、丁寧な説明が必要だと考える。

公約にある「市制20周年に向けて、市民とともに北名古屋市基本条例を制定」について、今後どのように進めていくのか示すことが必要ではないか。
①未着手公約の実現に向け、今後どのように進めるか。
②今後を見据えた新たな施策があれば。

市長

①今後も市民ニーズの把握や事業の優先順位を明確にし、公約の実現に向けて着実に取り組んでいく。

②市長就任にあたり、5つの約束を掲げ、市民の皆様との信頼を第一に市政運営に取り組んできた。これからも市民の皆様が安全で安心して暮らせる環境の下、子供たちから高齢者まで誰もが健やかに、そして快適に過ごすことのできる健康快適都市を目指していきたい。



地域包括支援センターの認知度向上について

まみや 文枝（公明党）



福祉こども部

本市では現在、4か所の地域包括支援センターで、高齢者の相談や、介護予防教室の開催など多様な取組が進められている。

しかし、現状として市民の地域包括支援センターという言葉そのものの認知度が十分に届いていない。

地域包括支援センターという硬いイメージを払拭する愛称を付けることで、市民にとって身近な存在と思っていただけのではないか。
①地域包括支援センターの現状の認知度をどのように把握しているか。
②名称や愛称の工夫を検討する考えは
③周知方法の強化の考えは。

地域包括ケア推進室長

①地道な周知により、徐々に認知度が上がっていると感じている。
②介護保険法に規定があり、地域包括支援センターとしている自治体が多いが、親しみを持っていただけ、相談しやすい効果を期待できることから、必要

その他の質問

・フレイル進行防止の新たな取組について
・性の多様性を尊重する教育現場づくりについて



ひきこもり支援体制の強化について

さいとう 裕美（公明党）



本市では、約1,000人がひきこもりの状態にある（外出をほとんどしない期間が6か月以上続く状態）可能性がある。

0歳から39歳まではこども若者支援センターが支援をしているが、支援に繋がることがなくきた40歳以上のひきこもり状態にある方や孤立世帯は行政の支援網から漏れており、早期発見と支援開始のための対応と情報収集体制の構築が不可欠である。

- ①支援に繋がっていない方の把握は。
- ②こども若者支援センターの40歳以上のひきこもり状態にある方への対応は。
- ③支援拒否者への対応は。



- ④早期発見の仕組みづくりは。
 - ⑤匿名情報提供の仕組みの導入は。
 - ⑥こども若者支援センターの災害時における機能強化については。
 - ⑦広報・啓発活動の強化については。
- こども家庭課長**
- ①これまで実施していないが、情報収集については、子ども・若者支援地域協議会の機能を用いて行っている。
 - ②40歳を過ぎていくということでも相談を受けないという対応をしていない。
 - ③当事者が支援者に自分自身の気持ち話を話してもいいと思ってもらえる関係を築けるよう取り組んでいる。
 - ④ひきこもり状態にある人を含めた支援の必要な人を地域包括支援センター等に繋げてほしいと願っている。
 - ⑤現在、匿名相談可能である。
 - ⑥必要に応じて避難行動要支援者名簿への登録等、社会福祉課に繋いでいく。
 - ⑦ホームページで周知していきたい。

性別を問わない登下校の黄色い帽子に

渡邊 麻衣子（日本共産党）



小学生が登下校時にかぶる黄色の帽子は2種類あり、性別で分けられているように見受けられる。

「女の子は赤やピンク」「男の子は青や黒」といった固定観念は、無意識に性別や能力、役割を決めつけ、偏見・差別を生み、社会全体の不利益となる。

ジェンダー教育は、固定観念にとらわれず自分らしく生きる力を育むため、また、性の多様性を認識し尊重し合うために欠かせないもので、特に幼児期から小学生の時期に重要と考える。

学校環境では男女混合のクラス名簿や、性別に関係なく選べる中学校制服など取組が行われている。黄色い帽子についても性別によるデザインの違い



をなくすこと、あるいは自由に選ぶことを考えてみてはいかがか。

- ①ジェンダー教育の取組状況は。
- ②黄色い帽子は、自由に選んでいるか。
- ③黄色い帽子のデザイン統一、または自由な帽子の着用についての考えは。

教育部次長

- ①小学校では個性の在り方を、中学校では多様性や心の変化への理解、男女共生、個人の尊重について課題を共有している。
- ②男子はキャップ、女子はハットを慣例的に選択していた。今年度からは男女問わず選択できる旨を案内する。
- ③現在の2種類の帽子を、交通安全の観点から黄色の指定の帽子として、案内していく。

その他の質問

- ・急病時にも安心して受診できる生活保護制度に
- ・不登校の子を持つ家族も活用できる介護休業について

産後ケア事業の拡充について

上野 雅美（立憲民主党）



産後ケア事業は、助産師、保健師等が、産後の健康面や生活面の相談、乳房ケア、授乳方法・沐浴・育児に関する助言・相談を行うもので、宿泊型・通所型・訪問型があり、北名古屋市では、宿泊型・訪問型の実施をしている。

産後ケアを必要とする理由は多岐に渡り、子育ての不安や疲労といった母親の心身の負担を少しでも減らす支援が必要だと考える。妊娠前から子育てにわたる支援体制の充実を図る産後ケアへの取組について伺う。

- ①北名古屋市における産後ケア事業の現状と課題について。
- ②通所型の産後ケアの拡充についての見解は。
- ③里帰り出産の方へのサポートについて、住所地との連携や里帰り出産先の産後ケアへの補助について。
- ④令和7年度より産後ケア事業の都道府県負担が導入されているが、今後の利用料金のあり方は。



- ①令和6年度は訪問型が3人、宿泊型が17人。課題は、医療機関等の空床利用をしているため、利用希望条件に添えない場合があること。
- ②医療機関等と調整し実施に向けて検討していきたい。
- ③補助は実施していないが、里帰り出産先と連携し、母子への支援を行っている。
- ④他市町を調査し、引き続き研究していきたい。

その他の質問

- ・産後ヘルパー派遣事業について

時間外勤務について

熊澤 真澄（市政クラブ）



行政の事務や権限が増えたことで、市が実施する業務量が増えているが、地方公共団体の職員数は減ってきている。

総合的に時間外勤務の是正が図れるよう、職員の配置など工夫をされているが、全体の仕事量が変わらなければ、時間外勤務は減らないように感じる。

- ①過去3年間の時間外勤務の推移と削減に向けた取組は。
- ②事務事業の見直しにより、時間外がどれだけ削減できたか。残務整理など削減するために窓口時間を短縮される考えはないか。

人事課長

- ①時間外勤務の年間総時間数は、令和4年度が3万806時間、令和5年度が3万1,643時間、令和6年度が3万5,389時間。
- 削減に向けた取組として、事前に所属長に内容と予定時間を申請する、毎週水曜日を定時退庁日とする等を実施。

働き方改革の一環として意味があるが、職員のためだけではなく、市民サービスの低下を招かないよう、バランスを考えたうえで研究していく。

その他の質問

- ・人材の確保について
- ・適正な人員配置について
- ・人材の育成について



他部署に影響を及ぼす事業への
適正な査定について

清水 晃治（市政クラブ）



本市の高齢化率は、全国平均より低く、コロナ禍前の介護保険の要介護（要支援）認定率、介護給付費は県平均より低い値だった。しかし、2025年3月末の認定率は、ほぼ県平均と同じ値となり、介護給付費も増加し、いずれの上昇率は大きいものであった。

本市の介護予防施策や支え合える地域の存在は、他自治体と比較して介護負担を低く抑えていたが、コロナ禍における交流の断絶により、自治会加入率低下が加速し、補助金削減も加わり地域社会を形成する機会が失われた。

このままでは介護給付費が数億円規模で急増する危険性を秘めている。今後の予算編成では、今まで以上に広い視点で効果や影響を判断する総合的な査定が望まれる。

①行政の事業で統括して調整、判断する仕組みは。

②自治会活動をはじめとする地域づくり事業への大胆な予算の投入、また、自

治会が主体性を持った新たな提案に補助金を出す仕組みを検討すべきでは。

副市長

①担当部署が事業の見直しや新規事業を立ち上げる場合、政策調整課、財政課を含めた3者で予算化に向け調整する体制となっている。事業の必要性や他事業への影響度合いによっては政策会議で総合的に判断して進めている。

②未来を支える重要な施策として、地域で支え合える体制、地域コミュニティの構築、その土台となる人づくりに取り組んでいる。財政状況を見ながら効果的な財源の投入と地域の活性化につながる補助金のあり方について検討していく。

その他の質問

・要介護認定率と一人当たりの給付費について

ワンコインがん検診の導入について
つるた りえ（公明党）

がんは日本人の死因1位の疾病であり、生涯で日本人の3人に1人ががんで死亡している。

国は、「第4期がん対策推進基本計画」において、「誰一人取り残さないがん対策」を推進し、がん検診受診率の目標を60%に引き上げた。

本市では、土日に集団健診を実施するなど、働く世代への配慮が行われているが、本市のがん検診受診率は全国平均と比べて低く、受診率向上が必要である。

①本市のがん検診率が低い背景は。
②他市で実施されている「ワンコインがん検診」の導入についての考えは。
③今後、受診率向上のためにどのような取組を強化するか。

健康課長

①検診の重要性や効果、早期発見の必要性などの情報が市民に十分認識されていないことが大きな要因。受診率が、各がん検診における市民全体の対象年



齢に対するものであり、市が実施しているがん検診の受診者数のみしか把握できないことも要因である。

②ワンコインがん検診を導入することは、受診率向上の手段の一つと考えるが、受診率や本市の傾向等を把握し、課題の整理をする必要がある。引き続き研究していく。

③ホームページや市公式LINE、保健センター公式インスタグラムなどにより情報発信を強化していく。

被災者の命を守るための災害ケース
マネジメント

伊藤 大輔（立憲民主党）



内閣府が令和5年に発行した「災害ケースマネジメント実施の手引き」では、災害ケースマネジメントは被災者の主体的な自立・生活再建のプロセスを支援し、課題等の解決に向けた継続的な支援で自立・生活再建が進むようマネジメントする取組とされている。

本市が地域防災計画に災害ケースマネジメントを位置づけたことは、取組の進捗を示すものとして評価している。手引きでは、社会福祉法人やNPO等

の民間団体との連携体制の構築、人材育成、広報など平時からの取組の重要性が強調されている。実施するための準備の進捗状況と顕在化した課題について問う。

生活安全部長

現在、災害ケースマネジメントの実施に向け検討を進めており、課題として担当者の人材育成と関係各所との連携体制の構築が急務であると認識している。担当者の育成は、研修参加によりアウトリーチによる被災者の状況把握、被災者一人ひとりに寄り添った支援、訪問調査、ケース会議の主催等の実務に関する理解を深める。今後は、担当部署を明確化し、関係各課の連携体制を構築、社会福祉協議会やボランティア団体等の各機関間との連携や認識の共有を進め、被災者支援の仕組みの整備に取り組む。また、広報や総合防災訓練等を通して、市民の理解を深める啓発に努める。

本市における今後の公共下水道の
見解について

川淵 康宏（日本共産党）



本市の令和6年度末時点の汚水処理人口普及率は83%である。愛知県は汚水処理施設の効率的な整備、運営管理を目的に「全県域汚水適正処理構想」を策定し、令和8年度末の汚水処理人口普及率95%以上の達成を目指している。本市では、単独浄化槽と合併浄化槽が多く顕在し、その汚泥等を処理する鴨田工コパークの老朽化の早期解決が必要と考える。また、市全体を見ると密集地域が多く、公共下水道が適していると考えられる。汚水と雨水を別々の下水道管で流す分流方式は環境面、衛生面のメリットがあり、雨水の浸水被害の軽減に繋がる。今後の下水道事業についての見解は。

下水道課長

令和6年度末の公共下水道普及率は56.6%で、愛知県内の普及率が82.1%であることから、まだ整備が必要な段階である。頻発化、激甚化する集中豪雨に備え、雨水排水施設の改築・更新・



調整池等の浸水対策も同時に進める必要がある。さらに、汚水施設の改築・更新に向け、ストックマネジメント計画を見直していかなければならない。一方で、下水道使用料収益の向上や経費回収率の向上に努めなければ、経営が成り立たないと危機感を持っている。従って、投資計画と財政計画の均衡を図りながら、長期的に安定した下水道事業の運営をしていくことが重要と考えている。

その他の質問

・将来の更新に向け下水道への接続補助を

議会活動報告

7月9日～10日の2日間、議会運営委員会委員と議長、副議長の計11名で、オンライン会議の手法や成果、課題について、先進地である長野県飯田市、静岡県沼津市を視察してまいりました。



長野県飯田市議会

- コロナがまん延している中で、議会をいかに維持していくかの議論があり、令和4年に委員会条例を改正し、災害の発生、感染症のまん延防止、その他やむを得ない事由の場合、オンラインによる出席を認めた。
- 委員会だけでなく「協議又は調整を行うための場」についてもオンライン会議での参加を許可している。



静岡県沼津市議会

- 令和3年、コロナのまん延防止措置の観点等から、委員会の開催場所への参集が困難と判断される場合（大規模な災害、感染症のまん延、育児、介護、その他やむを得ない事由）に、オンラインを活用した委員会を開催することができるよう会議規則、委員会条例を一部改正した。

視察を終えて 所感(抜粋)

- ◎全ての議員が出席できない場合も想定した対応を今後の課題として持っており、本市議会でも一人ひとりの議員が運営に責任をもって関わられるような機会や土台づくりが重要である。
- ◎介護や育児の事由においてもオンライン会議で参加できることは、議員の働き方の選択肢を増やすこととなり賛成するものだが、議会が市民の為に成すことは何かといった

根本に立ち返り、しっかりと議論を重ねたいと思った。

- ◎「オンライン会議」の事前整備の体制を速やかに整えて何度も試行してみることが必要であり、利活用を考え広げることが喫緊の課題であると感じた。
- ◎議場や委員会室に参集できることが基本でオンライン会議が推進されているが、災害時いつ参集できるかわからない状況で、議決事案が発生した場合を考え、本市に取り入れていきたいと感じた。

市制施行20周年記念ポロシャツを市議会本会議で着用しました！

令和7年9月5日、9月25日開催の本会議にて、議員全員が北名古屋市制20周年記念ポロシャツを着用し、市制施行20周年の機運醸成・PRを行いました。（令和8年第2回、第3回定例会でも着用予定です。）



5年ぶりに改定された『日本人の食事摂取基準』では、骨粗しょう症予防がこれまで以上に重視された。一方、過度な痩身志向等を背景に日本の若年女性の「やせ」は深刻で、栄養不足とホルモン分泌低下は、骨量がピークを迎える時期の骨形成を阻害し、将来の骨粗しょう症リスクが著しく高まる。その結果、妊娠・出産期の母子の健康、更年期の急激な骨量減少、そして高齢期の要介護につながる骨折など、女性の生涯

に渡り多大な影響を及ぼす可能性がある。北名古屋市中でも15歳から19歳で「やせ」傾向が顕著で、将来的な骨粗しょう症リスクの上昇を示唆している。

北名古屋市中では、骨粗しょう症検診を40歳から実施しているが、対象を若年層にも広げ、骨密度測定に基づく検査と保健指導を行うことは、若年女性に生活習慣の改善や行動変容を促すうえで有効で、必要不可欠な施策と考えるが、市としてどのようにお考えか。

健康課長

今後は、若年世代の女性に対し、痩せ過ぎによる骨量の減少や妊娠中のリスクについても啓発をすることともに、若年世代が参加するイベントで骨波形測定器を活用し、結果に応じた説明を行うことで将来的な骨粗鬆症の予防対策を含めた健康意識の向上を図っていきたいと考えている。

その他の質問

・ケアマネのシャドーワークへの対応



11月は虐待防止月間です

北名古屋市議会は

「子どもを虐待から守るまち宣言」

を決議しています

皆様の声をお聞かせください

議会だよりをより充実させるため、皆様からのご意見ご感想をお聞かせください。

- 議会事務局
- メール giji@city.kitanagoya.lg.jp
 - FAX (0568) 23-3140



市議会モニター意見箱 ～第3回 定例会～



審議内容の理解ができた。

事業としての大切さ、大変さが実感できた。

強く関心を引かれた。

その他たくさんの貴重なご意見、ご提案をいただきました。今後の議会運営に役立てていきたいと思います。





フチャイロ

議会だよりが
アプリで
読めます。

令和7年 第4回定例会の予定

| | |
|-----------------|--|
| 11月28日(金) 午前10時 | 本会議(初日) |
| 12月 9日(火) 午前10時 | 本会議(一般質問) |
| 12月10日(水) 午前10時 | 本会議(一般質問) ※12/9にすべての日程が終了した場合は開催されません。 |
| 12月11日(木) 午前10時 | 予算決算常任委員会 |
| 12月12日(金) 午前10時 | 福祉教育常任委員会 |
| 12月15日(月) 午前10時 | 建設常任委員会 |
| 12月16日(火) 午前10時 | 総務常任委員会 |
| 12月17日(水) 午前10時 | 鉄道連続立体交差事業等検討特別委員会 |
| 12月22日(月) 午前10時 | 本会議(最終日) |

請願書・陳情書の提出について

令和7年第4回定例会の審査対象となる請願書・陳情書の提出期限は、11月19日(水)の午後5時(予定)です。

詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

本会議・委員会の傍聴

[受付時間] 会議開始30分前から

[受付場所] 市役所東庁舎 4階
東エレベーター前

※委員会は先着10名で、途中での入退室はできませんのでご了承ください。

ホームページをご覧ください

インターネットで議会の録画中継や議案の審議結果など様々な情報が見られます。みなさまのアクセスをお待ちしております。

※通信料はご利用者の負担となります。

北名古屋市議会

検索



編集後記

●今定例会では、令和6年度の決算を2日間にわたり、慎重に審議しました。皆様からお預かりした大切な税金が適切に使われているか、各議員がそれぞれの目線でチェックし、活発な議論が行われました。

今後も、議会での活動が市民の皆様に分かりやすく伝わるよう工夫してまいります。併せてホームページの議会録画中継や会議録を是非ともご覧ください。

●昨年に引きつづき第2回目となる市民と議員の意見交換会を実施しました。合併してもうすぐ20年、今回は「市の将来イメージについて」をテーマに市民の方が望む将来イメージで、どんな街に暮らしたいかを市民の皆様と一緒に意見交換をしました。

参加者の皆様から「こんな街にしたい、あんな街がいいな」との活発な意見が飛び交い、何度も対話を重ねていく大切さや議会と市民の方々が深くつながる為の対話の大切さも感じることができました。

今後もさらに多くの市民の皆様と対話を重ね、住みやすい、住んでみたい、住みつけた北名古屋市を目指していききたいと思います。



表紙紹介

名古屋芸術大学 芸術学部 2024年度 卒業制作

工藤 詩織 KUDO Shiori

self-portrait

身の回りにある素材や糸を集めて自画像を制作しました。時間や経験を積み重ねて自分が存在していることを、素材や糸が重なり集積する様子で表現しています。普段とは違う方法で絵を描くことを考えていく中で線を重ねて絵を描くことと糸を重ねて織ることの類似性を見つけました。絵は平面に描かれているものですが、幅広く様々な表現があるからこそ面白いし、見る人によって姿や意味が変わるけれど、作者の答えは必ず存在するものだと私は考えています。

この作品は正面性があることが平面作品であると考え、絵としての自画像を制作したものです。